

令和8年度

指定管理者事業計画書

《穂の国とよはし芸術劇場》

公益財団法人豊橋文化振興財団

1. 令和8年度事業計画概要

本年度は、令和8年度から令和9年度までの新たな指定管理期間の初年度にあたります。開館以来、劇場法に基づく地域の文化拠点として、質の高い鑑賞機会の提供にとどまらず、人々の創造性を育み、共に生きる絆を形成する事業を積極的に展開してまいりました。

本年度は、これまでの創造・普及事業を基盤としつつ、第4期指定管理期間における最重点課題である誰もが参加できる劇場（アクセシビリティの推進）および地域コミュニティの創造と再生の実現に向けた取り組みを具現化する一年とします。

また、物価高騰や労務費の上昇、エネルギー価格の変動など、経営環境の変化に対応するため、デジタル化による業務の省力化と効率的な施設運営を推進し、持続可能な管理運営体制の強化を図ります。

2. 施設の運営管理業務について

施設の管理運営業務については、館長およびプロデューサーを中心に、事業制作部、舞台技術部、財団本部が連携しそれぞれの専門性を活かし、仕様書で示された業務を着実に実行します。

本施設は、主ホール、アートスペース、創造活動室、研修室など、多様な利用者ニーズに応えることが可能な施設です。これまでの運営で蓄積してきた多様な利用方法のノウハウを活用し、利用者ニーズに寄り添った助言や柔軟なサポートを行うとともに、アクセシビリティ向上を推進することで、これまで以上に広範な市民層が日常的に芸術文化に親しめる環境づくりに取り組みます。

(1) 令和8年度重点事項

➤ アクセシビリティの強化と社会包摂

障害のある方や子育て世代が心理的・物理的な障壁なく芸術を楽しめる環境を整備します。

➤ 「面としての街づくり」への寄与と地域連携

まちなかの近隣施設、商店街、学校等との連携を深め、劇場を起点とした回遊性の向上や経済波及効果の創出に努めます。

➤ 次代を担う人材の育成と参画支援

若手アーティストの支援、ファシリテーター等の育成を継続します。

➤ 効率的・持続可能な施設運営

冷暖房等の適切な運用を行い、環境負荷の低減とコスト抑制を両立させます。

(2) アンケートの実施について

成果目標の達成度を測るだけでなく、多様化・高度化する利用者ニーズを的確に捉えるため、従来の紙媒体に加え、QRコード等を活用したアンケートを実施します。収集した多角的な意見は、共有しサービス改善や次年度の施設運営に反映させます。

(3) 成果目標について

提案書に基づき、以下の「客観的指標」を掲げるとともに、多角的な「自己評価」を実施します。

1. 施設稼働率の目標（過去の平均値に対し3%UP）

各諸室の稼働率について、過去の実績（コロナ禍の影響を除く）に基づき以下の目標値を設定し利用促進に努めます。

- 主ホール・アートスペース：過去平均値に対し、それぞれ 3%UP
- 創造活動室（A～D）：過去平均値に対し、それぞれ 3%UP
- 研修室（大・小）：過去平均値に対し、それぞれ 3%UP

2. 利用者満足度の目標

- 利用者満足度：80%以上

アンケートにおいて「満足」以上の回答割合を80%以上とすることを目指し、利用者視点でのサービス改善を継続します。

3. 指定管理者として行う文化事業について

指定管理者事業として、若手音楽家育成事業「ワンコインコンサート」を継続し、市民が気軽に本格的な芸術に触れる機会を提供するとともに、若手演奏家の研鑽の場を創出します。また、話題性の高い大型演劇公演の招聘や共催事業を積極的に行い、質の高い舞台芸術の鑑賞機会の充実に努めます。

また、これまでの運営で蓄積した多様な利用ノウハウを活かし、鑑賞サポートを充実させることで、障害のある方や子育て世代など、より幅広い層への利用者拡大に取り組みます。さらに、近隣施設や商店街等と連携した事業を展開し、劇場を起点とした「面としての街づくり」と地域コミュニティの活性化を推進します。

具体的内容は別紙1のとおりです。

4. 人員体制について

館長およびプロデューサーを中心に、事業制作部、舞台技術部、財団本部が連携しそれぞれの専門性を活かし、開館中はいずれの時間帯でも仕様書で定められたサービス、運営が可能であるようシフト勤務を組み入れた体制を構築し、効率的な職員体制による運営します。

職員体制一覧（予定/指定管理部門のみ）

職員種別	部門	人数等	勤務時間等
職員	事業制作部	4名	週 38.75 時間
臨時	事業制作部（受付）	常駐 1名	14 時間/日×347 日
臨時	事業制作部（受付補助）	1名	6 時間/日×90 日
委託	事業制作部（警備業務）	常駐 1名	8.25 時間/日×347 日
職員	舞台技術部	3名	週 38.75 時間
委託	舞台技術部	3名	週 38.75 時間

5. 収支予算について

(単位：千円)

区 分		金 額
収入計画	指定管理料	88,600
	利用料金収入	46,500
	自主文化事業収入	10,000
	その他収入	400
収入合計		145,500

区 分	内 訳	金 額	
支出計画	1)人件費	嘱託員報酬	0
		給料手当	40,525
		法定福利費	6,185
		臨時雇賃金	6,033
		退職給付費用	2,896
	2)需用費	消耗品費	1,440
		印刷製本費	159
		光熱水費	43,381
		食糧費	0
		修繕費	300
	3)役務費	通信運搬費	372
		手数料	1,660
		保険料	175
		広告宣伝費	0
	4)旅費交通費		40
	5)委託料		25,471
	6)賃借料		1,181
	7)公租公課		5,503
8)諸謝金		0	
9)会議費		5	
10)減価償却費		174	
11)その他		10,000	
支出合計		145,500	

別紙1

令和8年度 豊橋文化振興財団 指定管理自主事業（穂の国とよはし芸術劇場）

	月	施設名	内容	開催日
1	4月	主ホール	サンライズプロモーション東京 「るつぼ The Crucible」(共催)	4月11日・12日
2	4月/1月	アートスペース	年間プログラム説明会/年始イベント	4月26日、1月4日
3	4月	主ホール	CUBE主催 ケムリ研究室no.5「サボテンの微笑み」(共催)	4月29日
4	5月	主ホール	PARCO劇場プロデュース 「メアリー・ステュアート」	5月21日～23日
5	5月	主ホール	講演 一龍齋貞鏡独演会	5月30日
6	6月	主ホール	サンライズプロモーション主催 ル・コント(共催)	6月6日～7日
7	12月	主ホール	「蓬萊竜太新作公演」(共催)	12月19日～20日
8	2月	主ホール	TA-netシンポジウムおよび関連事業(共催)	2月6日～7日
9	4月～3月	アートスペース	若手音楽家育成事業 ワンコインコンサート	年7回
10	4月～3月	創造活動室A	ピアノ試し弾き	4月～3月
11	8月～3月	他	インターンシップ事業	8月～3月